

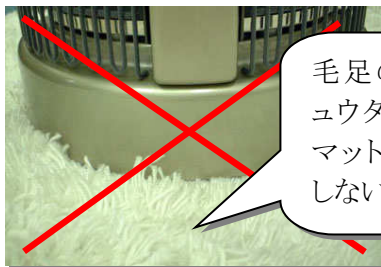
故障かな？と思ったら

ご連絡を頂く前に、安全装置の復帰処理をお試ください。

◎暖まらなくなる原因の 9 割以上が、安全装置の作動です

以下のような状況で使用した場合、安全装置(過熱防止装置)が作動することがあります。安全装置が作動すると自動的に通電を停止し、電源ランプが消灯して暖まらなくなります。お客様ご自身で復帰処理を行えますので、急に暖まらなくなってしまった場合には、弊社にご連絡いただく前に、以下の手順に沿って、復帰処理を行って下さい。

注意例 ①



毛足の長い絨毯(ジュウタン)や、厚手のマットの上では使用しないで下さい。

注意例 ②



暖房器にタオルや毛布などを被せないで下さい。

※暖房器の内部に熱がこもりやすくなり、安全装置が作動する原因となります。

◎安全装置の復帰方法 (2014 年以降の暖話室 限定バージョン)

- ① 電源スイッチを「切」にするか、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ② 内部の過熱防止装置が冷えるまで、30 分程お待ち下さい。
- ③ コンセントにプラグを差し込み、電源スイッチを「入」にして下さい。
- ④ 電源ランプが点灯するようになれば復帰完了です。

< 注意事項 >

暖房器本体が冷えていたとしても、「電源スイッチを切る」もしくは、「電源プラグを一旦、コンセントから抜く」作業を行わないと、内部の過熱防止装置が冷えないため復帰することができません。

◎正しい使い方の事例 ※取扱説明書と一緒に大切に保管してください。

暖房器内に熱がこもらないように、下に隙間ができる場所でお使いください (フローリングの床、畳、台の上など。)

